

様式第8号(第7条関係) [1]

(議員用) (その1)

2023年4月28日

西宮市議会議長 様

議員名 ひらき 光

2022年度政務活動費収支報告について

西宮市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項の規定に基づき、別紙
のとおり2022年度政務活動費収支報告書を提出します。

(議員用) (その2)

2022 年度政務活動費収支報告書

議員名 ひぐち 光彦

1 収 入

政務活動費 1,440,000 円

2 支 出

(単位:円)

項 目	金 額	備 考
調査研究費	30,720	木更津市視察の[ための]交通費
研修・会議費		
広報・広聴費		
資料購入費		
交通・通信費		
人 件 費		
事 務 費		
事務所費		
合 計	30,720	

3 残 額 1,409,280 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

(様式1)

項目別集計表

(令和4年度)

項目番号	項目名			
年月日	内 容	支 出 額 (充 当 額)	備 考	整理番号 又は 領収書番号
1	調査研究費			
R4.12.2	木更津市への視察のための交通費	14,090 円		1
R4.12.2	木更津市への視察のための交通費	1,380 円		2
R4.12.2	木更津市への視察のための交通費	1,380 円		3
R4.12.3	木更津市への視察のための交通費	13,870 円		4
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
合 計		30,720 円		

※ 領収書は項目別に整理し、この集計表を表紙としてください。

(様式2-1)

政務活動記録簿 (調査研究費)

整理番号		会派名(議員名)	ひぐち光冬		
年月日	令和4年12月2日(金) ~ 令和4年12月2日(金)				
調査・視察先 及び 所在都市名等	千葉県木更津市市役所(オーガニックシティ推進課)				
参加議員名	*複数参加の場合記入				
目的・ 内容・ 結果等 (別紙可)	オーガニックシティとしての先進事例を学ぶために、オーガニック シティ推進課の担当課の方や、地域の実践者の方々のお話を伺った。 詳細は別紙参照。				
上記活動 に要した 経 費	交 通 費 (別 紙 可)				
	経 路	利用交通機関	積 算	金 額	領収書番号
	西宮~品川	JR		14,090 円	1
	品川~木更津	高速バス		1,380 円	2
	木更津~品川	高速バス		1,380 円	3
	品川~新大阪	JR		13,870 円	4
				円	
				円	
	交通費 計			30,720 円	
	宿 泊 費	円	内訳		
	資 料 ・ 調 査 費	円	内訳		
	記 録 費	円	内訳		
	委 託 費	円	内訳		
	円	内訳			
活動経費 合計			30,720 円		
支出報告	以上のおり活動し経費を支出しました。			議 員 名	
				ひぐち光冬	
備 考					

- * スペースが足りない場合は、別紙で添付してください。
- * やむを得ず領収書を添付できないときは、支出報告欄に記載のうえ押印してください。
- * 整理番号欄は、必要に応じて適宜使用してください。

(様式7)

領 収 書 等 貼 付 用 紙

整理番号	
項 目 ※該当する項目 一つに○する	<input checked="" type="checkbox"/> 1:調査研究費 <input type="checkbox"/> 2:研修・会議費 <input type="checkbox"/> 3:広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 4:資料購入費 <input checked="" type="checkbox"/> 5:交通・通信費 <input type="checkbox"/> 6:人件費 <input type="checkbox"/> 7:事務費 <input type="checkbox"/> 8:事務所費
備 考 (按分率等)	
支出年月日	2022 年 12 月 2 日 ~ 2022 年 12 月 3 日

①

領 収 書
Receipt
ひびろ先生様

領収年月日 2022.12.-2
金額 ￥14,090 (消費税等込み)
(クレジット扱い)

購入商品 JR乗車券類 JR tickets
(30157, 2枚)
西日本旅客鉄道株式会社
西宮駅
西宮駅MK51発行 40158-01

印紙税申告納
付につき大淀
税務署承認済

②

領 収 書
ひびろ先生様

令和 4 年 12 月 2 日

1380 円

上記 路線バス運賃として領収致します

小湊鐵道株式会社 木更津営業所
TEL 0438(37)7299

担当者印

③

領 収 書
ひびろ先生様

令和 4 年 12 月 2 日

1380 円

上記路線バス運賃として領収致します

小湊鐵道株式会社 木更津営業所
電話 0438(37)7299

担当者印

④

領 収 書
Receipt
ひびろ先生様

領収年月日 2022.12.-3
金額 ￥13,870 (消費税等込み)
(クレジット扱い)

購入商品 JR乗車券類 JR tickets
(30003, 1枚)
東海旅客鉄道株式会社
品川駅
品川駅MV721発行 40004-02

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

※ 重ねないで4隅をのりづけし、必要記載事項を消さないように注意してください。
 ※ 原則として、枠からはみ出さない範囲で、同じ経費項目の領収書は可能な限り複数枚をまとめて貼って下さい。
 ただし活動記録簿を伴う支出は、活動記録簿ごとにまとめて下さい。

オーガニックシティ木更津 訪問レポート

2022-12-18 23:26:00

テーマ：活動 >

記事の更新が後手後手のひぐち光冬です！

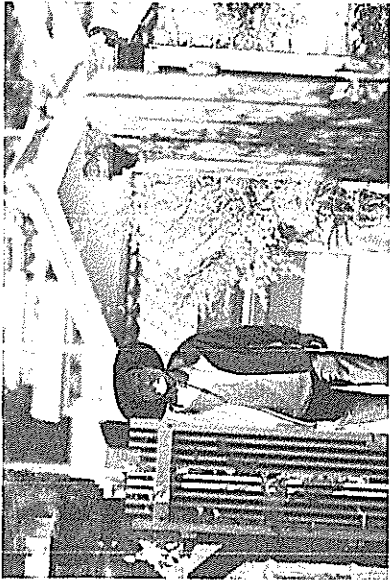


photo by 蛭田寛

6

12月2日に「オーガニックシティ」を掲げてまちづくりを進めている千葉県木更津市に行ってみました！

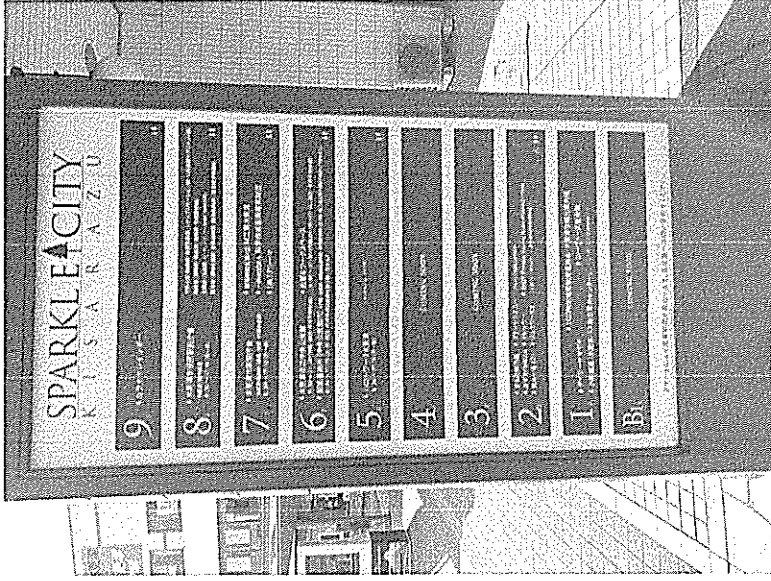
正直に言いますとね、元々木更津市がそんな素晴らしいことをしてるなんて全然知らなかったんです。だけど、自分が「オーガニックシティを目指すぞ！」と決めて「オーガニックシティプロジェクト西宮」を立ち上げてから、「ひよっとしたらもうすでにオーガニックシティってあるかもかもしれない…」と思って調べてみたらやっぱりあるではないですか！それが木更津市だったんです。そんなもん行かないわけにはいかないじゃないですか。先達の取り組みを見に行かないと。ということで、行ってまいりました。
(ちなみにひぐち調べでは、「オーガニックシティ」として紹介してやっっているのは日本全国で木更津市だけだと思います)

自宅から4時間半ほどかけて木更津市に到着。





ふむ。。
 駅は思ったよりも小さい。駅前は昭和感が漂っている。そして裏手の商店街はさびれている。一体オーガニックはどこに！？駅周辺の雰囲気からはまったくオーガニック感を見いだせないまま、木更津市役所に入ると、"オーガニックシティ推進課"を訪ねていった。



昭和感漂う駅前ビルの中に市役所駅前庁舎が、ひょっとすると空きスペースを有効活用しようとする発想か？！

到着すると、担当課の林さんがオーガニックシティの基本事項を丁寧に説明してくれた。

木更津市では、なんと2016年に「オーガニックなまちづくり条例」（正式には「木更津市 人と自然が調和した持続可能なまちづくりの推進に関する条例」）を施行している。早い！先駆的！今ほど"オーガニック"という言葉が浸透していない時期に、どのようにしてそのような条例を制定するに至ったのか…、その背景を尋ねてみると、市長のトップダウンということだった。やっぱりすごい市長の力は（内心、"議会からの働きかけがあって…"という回答を期待していたのだがね!!）。どうやら現・渡辺市長が就任時に、まちづくりの方向性が"都市化"という回答を期待していたこと（危惧を抱いたらしい。横浜に追い付けないかと思えたらしい。しかし渡辺市長は"都市化"に未来はないことを悟っており、今ある資源でどうにかならないかと考えたらしい。そして有機的なつながりを生かす"オーガニック"という考えに至ったのだ。まちを"発展"させていくのではなく、"成熟"させていく。何か新しいものを付け加えるのではなく、すでにあるものを最大限に生かしていく）。

オーガニックシティまさらのホームページには次のような言葉が記されている。

未来のためのまちづくりをはじめよう。
私たちがめざすのは、人と自然が調和した
持続可能なオーガニックシティ。
オーガニックは「生かす」こと。

生かそう。自然を、資源を。
生かそう。地域を、社会を。
生かそう。知恵を、伝統を。
生かそう。自分を、個性を。

生かすことで、自立し、つながり、循環がうまれる。
未来のために、できることから始めよう。
人と地域の関係をアップデートしよう。
このまちに関わる一人ひとりが、
これから起こる変化の当事者になるために。

生かそう

木更津は、ORGANIC CITYへ。

88 めちゃくちゃかっこええやないかい。
バクってもいいですか？

さて、条例を制定したはいいもの、いかんせんまだまだ“オーガニック”という概念自体が浸透していない時である。市民の理解を得るのには相当なハードルがあったと思われる。そこはどのようなにして乗り越えていったのか？

林 「たとえば農業分野でいうと、小さな実績をつくるところから始めました。当時は有機農家さんなんてほとんどいませんでしたので、市がバックアップするという前提で、有機農家にチャレンジしてみたいという農家さんを募りました。そして5人の方の手が挙がりました。そこからスタートです。その5人の方の成功事例をつくって、徐々に理解してもらっていったという感じですね。面的に言うと、1.8haからのスタートだったんですが、今は20haまで拡大しています。宇校給食への有機米提供は2019年から本格的に取り組み始め、ほぼゼロからのスタートで、今はだいたい半分ほど（約100日分）提供できており、3年後には全量提供（約200日分）で見る見込みができています」

み 「すごいですね！具体的に農家さんたちにはどのような支援をされているんですか？」

林 「いろいろメニューがあるんですが、研修は結精力を入れてやっています。また、お米1俵あたりの単価も慣行農家さんの倍の価格（約2万円）で買い取っています。あと有機JAS認証の支援などもしています」

み 「なるほど！2倍で買い取ってくれるようになったら農家さんもやってみようかなってなりますよね」

林 「そうですね。それでも決して高いとは言えないのですが…。通常のお米が安すぎるだけであって…」

み 「そうか。そこは抜本的な改革が必要ですね。ところで一般の市民の方たちにも“オーガニック”の啓蒙をしていたりするんですか？」

林 「はい。毎年11月3日に、“オーガニックシティフェスティバル”というお祭りをやっています。このイベントにはかなり力を入れていて、今年は2万人ほどの来場がありました」



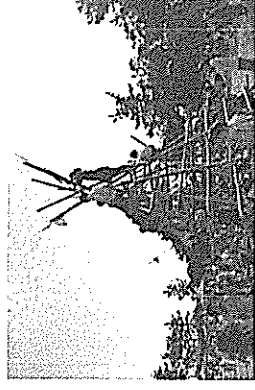
(画像はホームページより引用)

み 「2万人！すごい！木更津市の人口は14万人くらいだから、だいたい7人に1人は参加している計算になりますね！」

林 「まあ市民だけじゃなく、全国から来てくれているみたいなので何とも言えませんが、このお祭りを通じて“オーガニック”という概念が浸透してきているのは間違いないと思います」

み 「いやー、僕も来たかったなあ。もう少し早く知っていれば…。何か今後の展開とか考えていることがあったりしますか？」

林 「そうですね。今はまだその日だけの楽しいイベントといった感じで“点”で終わってしまっているのですが、これからはそれを“線”にして、日常でも生かしていけるような仕掛けを考えていきたいと思っています」



(竹の間伐材を使ったジャングルジム)

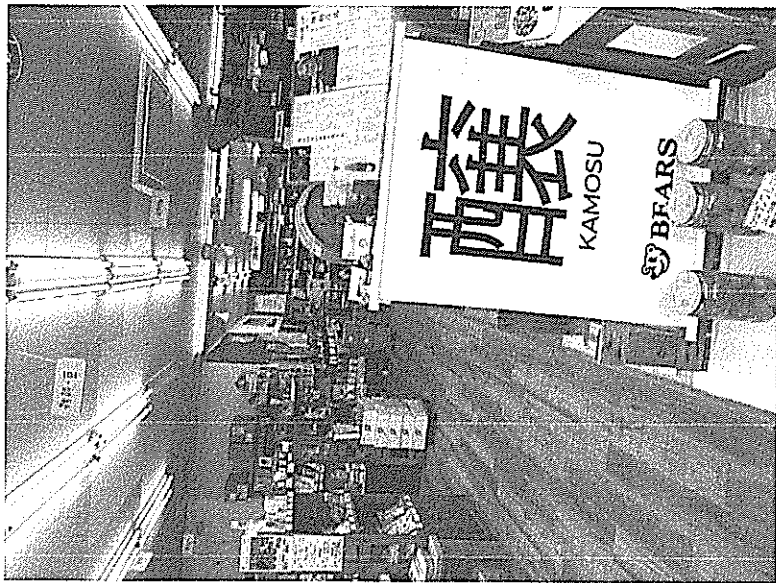
み 「いやー、ほんと素敵ですね。西宮でもやりたいなあ…」

林 「ぜひぜひ。じゃあそろそろベアーズさんのところへ行きましょうか」

ベアーズさんとは、有機食品店であり、木更津市のオーガニックなまちづくりを牽引している第一人者である。オーガニックシティアセスティブイバはベアーズさんが中心となって動かしているし、渡辺市長が「オーガニックシティア構想」を打ち上げたときに翼で影響を与えていたのがベアーズさんなのである。つまり、ベアーズさんがなければ「オーガニックシティア木更津」は誕生していなかったかもしれないほどの超重要拠点なのである。

ということで、林さんの案内でベアーズさんのお店に訪問させていただいた。





ベアーズの林利江さん（オーガニックシテイ木更津の中心人物）

なんと自分のところでビールまで作ってしまっているベアーズさん！すごい！
まず、ベアーズさん（利江さん）の取り組みを聞いてみた。

利 「うちは元々普通の酒屋だったんですよ。安売りの。でも20年くらい前かな。常連のお客さんがだんだん来なくなってるね。なんでかと思ったら、みんな身体を壊してしまっていた。自分たちが提供している物で身体を壊しているとしたらこれはいかんと思って、それから一気にオーガニックな商品に変えました」

み 「一気にですか？」

利 「はい、一気に。だけど、オーガニックは儲からないね（笑）」

み 「そうなんですか？」

利 「うちは調味料とかも扱ってるんだけど、調味料って1〜2ヶ月くらい普通にもつじゃん。回転が悪いのよ（笑）」

み 「そかさか、言われてみれば確かに。それでどうやってここまで続けてこれたんですか？」

利 「まあ、なんとかしたよね（笑）味噌づくりのイベントをしたりして、ファンを作って。そこで食の啓蒙なんかも結構してる」

み 「そうなんですね。僕だったら儲からないとわかった時点ですぐに控えてしまいたいようなものですけど、貫き通しておられるのが本当にすごいです。ところで、市が“オーガニックシテイ”を打ち出した影響は何が感じられますか？」

利 「市の影響はすごいよやっぱり。市民の意識もかなり変わってきていると思う。オーガニックシテイフェスティバルは元々私たちが独自でやってたんだけど、市が協力してくれたことによって、一気に大きくなったしね。やっぱり市長が変わって、木更津が一気に変わったね」

なるほど…。やはり市が方向性を示すことは重要だな。しかし西宮市も「環境学習都市」という宣言を出しているが、残念ながら機能しているとは言い難い。このように宣言等はあるけど中身が伴っていないというケースが結構見受けられる中、木更津市はしっかりと実行しているのすごい。そしてその背景に、ベアーズの林利江さんの地道で粘り強い行動があったのだということを知ると、なんだか泣けてきた。市の方針ももちろん重要。だけど、それを形作っていくのは、我々ひとり一人の行動なのだ。

ベアーズさんの後は、同様に木更津のオーガニックな取り組みを牽引している「舵輪」さんというオーガニックレストランに行った。ここでも「市がオーガニックの方向性を打ち出した影響は大かい」という話を聞かせてもらった。

LUNCH MENU

海に夕陽映るレストラン



舟 (Futaba) とは、船 (Ship) と暮らす (Live) との組み合わせ、舟 (Ship) が動いていく。

船は、地域食料を主役にしたレストラン。

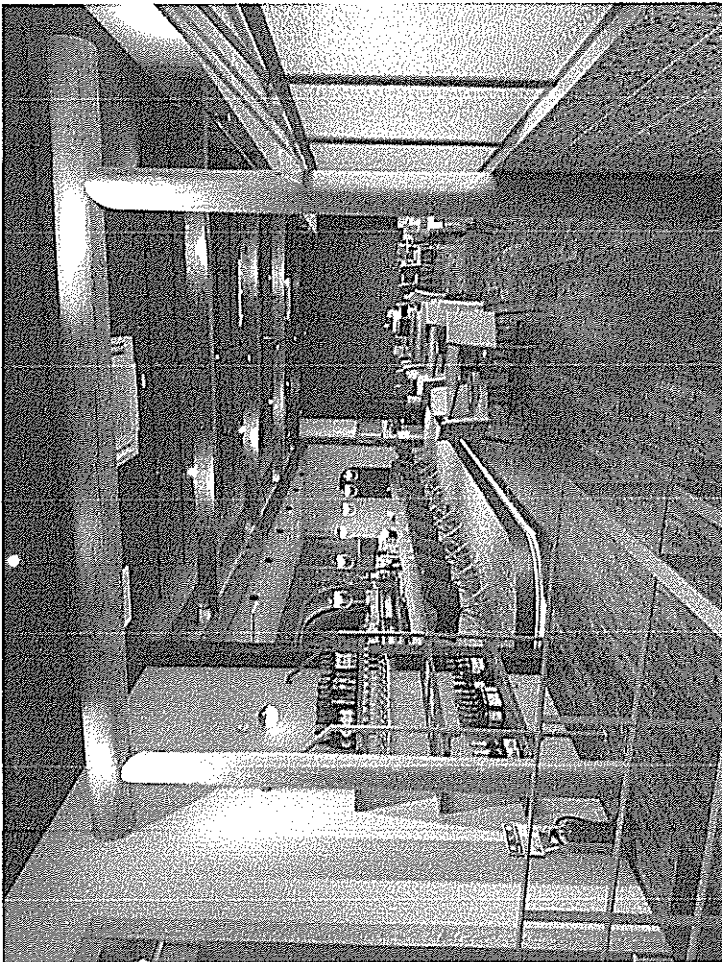
地域の生産者さんが作る食料を、私たちレストランが料理で繋ぎ、食をリレーしていく。生産者から料理、それを食べに来る人。

私たちはこうしただけの食の大きな高層のよりよいアンカーでありたい。そして皆さんの食、社会、人生がこの場所をきっかけに少しでも盛り。

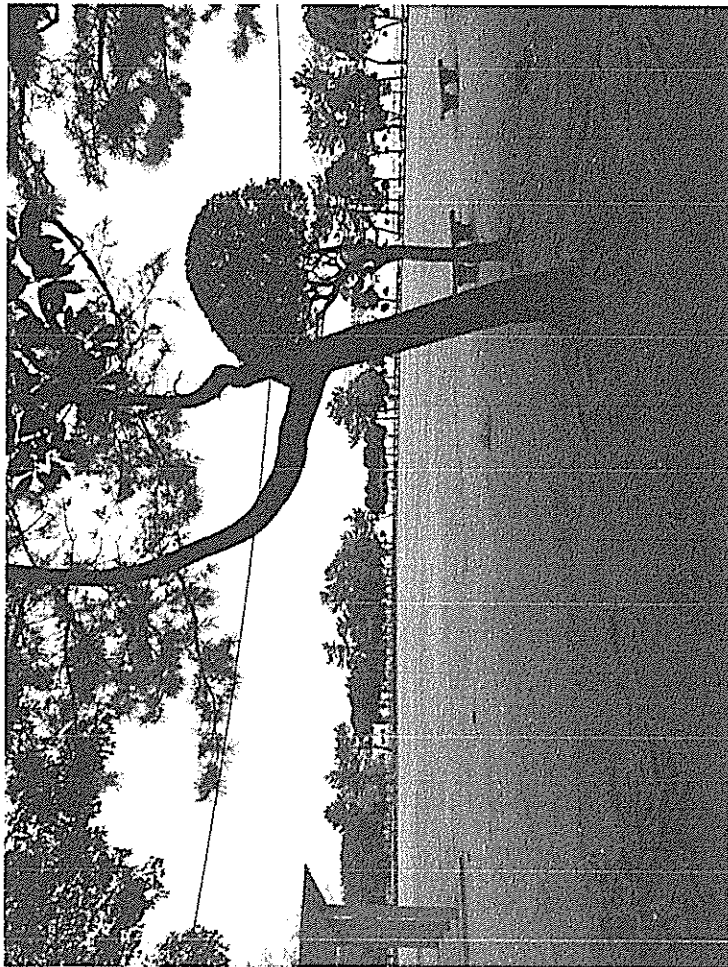
繋がっていくことを願い、食の船を切る。船輪というレストランに込めた、私たちの思いです。

千葉県は、農産物や海産物の宝庫です。その他にも県外より驚きのある生産者からも様々な食料が届きます。

素晴らしい食料が集まった船輪。海と舟の章のお料理をぜひご堪能下さい。



最後はオーガニックシティエッセイバルの会場となった公園へ。“ここに2万人も集まったのかあ”と感慨にふける。



木更津には1日しかいなかったのですが、オーガニックの拠点をすべて回りきることはできなかつたが、十分堪能させていただきました。

ありがとうございました、木更津のみなさん。

西宮市でもオーガニックのうねりを起こしていきたいと思います。まずは自らの手で。